

教育目標

(1) 学校の教育目標

優雅で格調高い校風を誇る渋谷区立常磐松小学校の児童が、普遍的かつ郷土に根差した個性的な文化の創造と豊かな社会の実現を目指し、人権尊重の教育を基本に平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神に満ちた健全な人間として成長することを願い、学校教育を推進する。

また、開校以来の校訓である「健康・勤勉・上品」を学校の宝として継承するとともに、人と人、人と自然、人と社会との関わりを大切にし、個性を生かしながら、他者と共に生きる力をもつ児童の育成を目指す。目指す児童像として、「挑戦する子」「つながる子」「働く子」を掲げ、今年度は「つながる子」の育成を重点とする。

◎つながる子(人と人とのつながりを大切にし、互いに相手のよさや違いを認め、協力し合う児童を育成することを目標とし、人とよりよく関わることのできる力を身に付けさせていく。)

○挑戦する子(広い視野をもち、自ら学び、考え、挑戦する力をもって行動する児童を育成することを目標とし、自分らしい生き方ができる力を身に付けさせていく。)

○働く子(ルールを守り、仲間や地域の役に立つために能力を発揮する児童を育成することを目標とし、社会の一員として積極的に働き、行動できる力を身に付けさせていく)

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

○健全な心や体を育む教育の推進

- ・道徳教育や人権教育の充実を通して、児童が相互に心の交流を深め、思いやりや自他の生命を尊重し、相手の立場に立って考えられる態度を身に付けるとともに、児童の規範意識を高め、いじめなどのない心豊かに安心して学校生活を送ることができるようにする。
- ・各教科等や給食の時間における食育指導を通して、一人一人の児童が、発達段階に応じて、心身の大切さについて認識し、生涯にわたって心と体の健康づくりに取り組む意欲と態度を育成する。
- ・体育朝会や一校一取組の活動を通して、体力・運動能力の向上と運動の楽しさを大切にして自らの健康を高める意欲や態度を育てる。

○学力の向上と個に応じた教育の推進

- ・児童がめあてをもって学習できるよう、「常磐松スタイル」等、指導方法や学習形態を工夫し、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。
- ・ICT機器を活用した授業を行うことで、プログラミング的思考を育てる指導を工夫することで、論理的に考え、解決方法を習得し、活用し、さらに探究できる児童を育成する。
- ・ティームティーチングや習熟度別少人数指導といった授業形態を工夫し、個に応じた指導の充実を図る。
- ・全ての児童の自立と社会参加を目指し、配慮の必要な場面の改善、学習や生活上の困難の改善または克服するため、特別支援教育校内委員会を中心に、全教職員で適切な指導や支援を行う。

○信頼される学校づくり

- ・学校便り・ホームページ・ホームアンドスクール・学校掲示板等を活用して情報を発信し、「毎日が公開」の体制で開かれた学校に努める。
- ・保護者アンケートや学校連絡協議会の意見を学校運営に反映させる。

○文化・芸術・スポーツの推進

- ・我が国や世界の文化・伝統に対する理解を深め、その多様性を学ぶとともに、相互理解の基本となるコミュニケーション能力の育成を図る。